平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月11日

上場会社名　札幌臨床検査センター株式会社　　上場取引所　大 札
コード番号　9776　URL　http://www.saturin.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 細川　武雄
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役　(氏名) 大井　典雄　TEL 011-613-3210

四半期報告書提出予定日　平成23年11月11日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	7,619	3.2	475	63.4	509	55.4	280	16.6
23年3月期第2四半期	7,383	5.4	291	2.0	327	4.2	240	42.8

(注)包括利益　24年3月期第2四半期　272百万円　(17.0%)　23年3月期第2四半期　232百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	70.42	―
23年3月期第2四半期	59.62	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	7,881	4,796	60.9
23年3月期	7,568	4,567	60.4

(参考) 自己資本　24年3月期第2四半期　4,796百万円　23年3月期　4,567百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	―	0.00	―	11.00	11.00
24年3月期	―	0.00			
24年3月期(予想)			―	10.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,300	4.0	667	7.3	679	2.2	360	△23.2	90.68

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料4ページ「サマリー情報(その他)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	4,216,000 株	23年3月期	4,216,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	236,452 株	23年3月期	236,452 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	3,979,548 株	23年3月期2Q	4,031,285 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外でありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きは終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成23年11月4日に公表いたしました業績予想の修正に関するお知らせから修正は行っておりません。
2. 本資料に掲載されている業績予想等は、現時点で入手可能な情報により判断した予想であり、将来の業績に影響を与える様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（その他）に関する事項 …… 4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
（４）追加情報 …… 4
３．四半期連結財務諸表 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 8
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 9
（４）セグメント情報等 …… 9
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 10
（６）重要な後発事象 …… 10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災や福島第一原子力発電所の事故により製造業など多くの産業に大打撃を与えましたが、サプライチェーン（供給網）の復旧や各種政策効果により穏やかながら持ち直してきております。しかし、急速な円高の進行による生産の海外シフトや欧米諸国の財政・金融問題などが深刻さを増し、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

また、当社グループが拠点を構える北海道の経済におきましては、東日本大震災による生産・販売拠点の直接被害は限定的であったが、原発事故による影響も相まって来道客数の大幅減少や自粛ムードによる消費の抑制等により厳しい状況で推移いたしました。

医療業界におきましては、臨床検査業界の再編による競争激化や医療機関開設等の減少傾向がある中、厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社グループは、医療機関からの多様なニーズに応えた積極的な営業活動を展開し、新規顧客の獲得や採算性を重視した経営改善に努めてまいりました。

この結果、当第２四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高7,619百万円（前年同期比3.2%増）、営業利益475百万円（同63.4%増）、経常利益509百万円（同55.4%増）、四半期純利益280百万円（同16.6%増）と増収増益になりました。

セグメントの状況は次のとおりであります。

① 臨床検査事業

臨床検査事業におきましては、新規顧客の獲得に重点をおいた営業展開を推し進めてきたことにより一定の成果を上げることができ、売上高2,573百万円（前年同期比4.5%増）、セグメント利益152百万円（同25.9%増）と増収増益になりました。

② 調剤薬局事業

調剤薬局事業におきましては、既存店舗の来局患者数の増加により、売上高は4,617百万円（同5.1%増）、セグメント利益516百万円（同40.6%増）と増収増益になりました。

③ 医療機器販売・保守事業

医療機器販売・保守事業におきましては、前年同期は好調であった大型備品の販売が平年並みであったことにより、売上高393百万円（同21.6%減）、セグメント利益0百万円（同95.3%減）と減収減益になりました。

④ その他の事業

臨床検査システムのソフトウェア販売及び保守の収入におきましては、売上高34百万円（同45.0%増）、セグメント利益17百万円（同283.6%増）の増収増益になりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第２四半期連結会計期間末における流動資産は5,099百万円となり、前連結会計年度末に比べ430百万円増加（前連結会計年度末比9.2%増）致しました。これは主に現金及び預金が449百万円増加、受取手形及び売掛金が89百万円増加したこと、一方では、商品及び製品が88百万円減少したことによるものであります。固定資産は2,781百万円となり、前連結会計年度末に比べ117百万円減少（同4.1%減）致しました。これは主に有形固定資産が72百万円、無形固定資産が21百万円及び投資有価証券が12百万円それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、総資産は7,881百万円となり、前連結会計年度末に比べ312百万円増加（同4.1%増）致しました。

（負債）

当第２四半期連結会計期間末における流動負債は2,715百万円となり、前連結会計年度末に比べ97百万円増加（同3.7%増）致しました。これは主に支払手形及び買掛金が214百万円増加したこと、賞与引当金が87百万円増加したこと、一方では、短期借入金が214百万円減少したことによるものであります。固定負債は368百万円となり、前連結会計年度末に比べ13百万円減少（同3.4%減）致しました。これは主に長期借入金が5百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は3,084百万円となり、前連結会計年度末に比べ84百万円増加（同2.8%増）致しました。

（純資産）

当第２四半期連結会計期間末における純資産は4,796百万円となり、前連結会計年度末に比べ228百万円増加（同5.0%増）致しました。これは主に四半期純利益280百万円、利益処分として43百万円配当したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は、60.9%となり、前連結会計年度末比0.5ポイント増加致しました。

また、1株当たり純資産は1,205円22銭となり、前連結会計年度末比57円44銭増加致しました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期第２四半期累計期間の業績につきましては、平成23年3月期決算短信公表時（平成23年5月16日付）の予想を修正をしております。詳細は11月４日公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、通期の見通しにつきましては、世界的な金融不安や円高の長期化などにより景気の先行きが不透明な状況から、連結・個別ともに前回発表予想を据え置いております。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第２四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

（４）追加情報

（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用）

第１四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号　平成21年12月４日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号　平成21年12月４日）を適用しております。なお、「金融商品会計に関する実務指針」（日本公認会計士協会会計制度委員会報告第14号）が平成23年３月29日付けで一部改正されたことに伴い、従来、特別利益に計上しておりました「貸倒引当金戻入額」は、当第２四半期連結累計期間より営業外収益に「貸倒引当金戻入額」として計上しておりますが、同実務指針の定めに基づき、前第２四半期連結累計期間については遡及処理を行っておりません。

（不動産管理並びに賃貸業の収入及び原価の計上区分の変更）

当社の連結子会社であるアクテック株式会社の不動産管理並びに賃貸による収入及び原価については、従来、売上高及び売上原価に計上しておりましたが、第１四半期連結会計期間より営業外収益の受取賃貸料及び営業外費用の賃貸収入原価として計上する方法に変更しております。

この変更は、当社グループの事業内容を見直した結果、今後の事業戦略上、アクテック株式会社の不動産管理並びに賃貸業を主たる事業として積極的に事業展開する予定がないことを取締役会で決議したことを契機として、より実態を適切に表示するために行ったものであります。

当該計上区分の変更は遡及適用され、前第２四半期連結累計期間については、遡及適用後の四半期連結財務諸表となっております。

この結果、遡及適用を行う前と比べて、前第２四半期連結累計期間の売上総利益及び営業利益が1,628千円減少しておりますが、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

なお、セグメント情報に与える影響については、当該個所に記載しております。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成23年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,663,613	2,113,232
受取手形及び売掛金	2,311,251	2,400,923
商品及び製品	545,756	457,572
仕掛品	14,356	14,029
原材料及び貯蔵品	28,806	22,274
繰延税金資産	54,787	54,787
その他	88,589	66,129
貸倒引当金	△37,962	△28,962
流動資産合計	4,669,198	5,099,987
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,745,831	1,738,638
減価償却累計額	△1,086,101	△1,104,406
建物及び構築物（純額）	659,730	634,232
機械装置及び運搬具	65,387	66,387
減価償却累計額	△57,217	△57,896
機械装置及び運搬具（純額）	8,169	8,490
工具、器具及び備品	1,867,207	1,915,134
減価償却累計額	△1,442,615	△1,540,385
工具、器具及び備品（純額）	424,592	374,749
土地	909,323	909,323
リース資産	52,879	55,474
減価償却累計額	△15,829	△16,174
リース資産（純額）	37,050	39,299
有形固定資産合計	2,038,865	1,966,094
無形固定資産		
その他	159,159	137,734
無形固定資産合計	159,159	137,734
投資その他の資産		
投資有価証券	124,132	111,443
長期貸付金	33,027	29,833
長期前払費用	26,382	27,341
差入保証金	324,896	320,222
繰延税金資産	140,905	145,743
その他	243,207	235,528
貸倒引当金	△191,498	△192,800
投資その他の資産合計	701,052	677,312
固定資産合計	2,899,077	2,781,141
資産合計	7,568,276	7,881,128

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成23年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,710,004	1,924,190
短期借入金	413,181	198,762
リース債務	12,127	13,316
未払法人税等	160,372	224,906
未払金	124,986	55,179
賞与引当金	67,986	155,214
その他	129,975	144,365
流動負債合計	2,618,633	2,715,935
固定負債		
長期借入金	64,061	58,953
リース債務	32,055	32,539
役員退職慰労引当金	55,863	55,233
退職給付引当金	9,600	9,994
長期未払金	214,097	206,183
繰延税金負債	298	－
その他	6,041	6,041
固定負債合計	382,015	368,946
負債合計	3,000,649	3,084,881
純資産の部		
株主資本		
資本金	983,350	983,350
資本剰余金	1,015,270	1,015,270
利益剰余金	2,668,466	2,904,946
自己株式	△98,502	△98,502
株主資本合計	4,568,583	4,805,063
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△955	△8,816
その他の包括利益累計額合計	△955	△8,816
純資産合計	4,567,627	4,796,247
負債純資産合計	7,568,276	7,881,128

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
売上高	7,383,016	7,619,255
売上原価	5,228,187	5,278,199
売上総利益	2,154,828	2,341,055
販売費及び一般管理費	1,863,807	1,865,447
営業利益	291,021	475,607
営業外収益		
受取利息	1,594	1,034
受取配当金	1,324	1,500
受取賃貸料	25,491	28,172
助成金収入	14,500	－
貸倒引当金戻入額	－	10,024
その他	13,077	18,074
営業外収益合計	55,987	58,806
営業外費用		
支払利息	4,242	3,231
賃貸収入原価	15,100	20,243
その他	54	1,869
営業外費用合計	19,398	25,344
経常利益	327,610	509,070
特別利益		
貸倒引当金戻入額	42,132	－
前期損益修正益	44,532	－
固定資産売却益	104	174
固定資産受贈益	7,358	731
特別利益合計	94,127	906
特別損失		
固定資産売却損	268	－
固定資産除却損	1,234	240
会員権評価損	1,400	5,800
店舗閉鎖損失	－	7,168
減損損失	－	5,530
特別損失合計	2,902	18,739
税金等調整前四半期純利益	418,834	491,237
法人税等	178,476	210,982
少数株主損益調整前四半期純利益	240,358	280,255
四半期純利益	240,358	280,255

（四半期連結包括利益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	240,358	280,255
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7,546	△7,860
その他の包括利益合計	△7,546	△7,860
四半期包括利益	232,812	272,394
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	232,812	272,394

（3）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（4）セグメント情報等

Ⅰ 前第２四半期連結累計期間（自平成22年４月１日 至平成22年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他（注）	合計
	臨床検査事業	調剤薬局事業	医療機器販売・保守事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,461,966	4,395,058	502,249	7,359,274	23,741	7,383,016
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	310,526	310,526	409	310,935
計	2,461,966	4,395,058	812,775	7,669,800	24,151	7,693,952
セグメント利益	121,182	367,172	8,887	497,242	4,467	501,709

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、臨床検査システムのソフトウェア販売及び保守による収入を含んでおります。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	497,242
「その他」の区分の利益	4,467
セグメント間取引消去	218
全社費用（注）	△210,906
四半期連結損益計算書の営業利益	291,021

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務部門等管理部門に係る費用であります。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間（自平成23年４月１日 至平成23年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他（注）１及び２	合計
	臨床検査事業	調剤薬局事業	医療機器販売・保守事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,573,835	4,617,365	393,627	7,584,828	34,426	7,619,255
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	251,152	251,152	338	251,491
計	2,573,835	4,617,365	644,780	7,835,980	34,765	7,870,746
セグメント利益	152,519	516,125	417	669,061	17,139	686,200

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、臨床検査システムのソフトウェア販売及び保守による収入を含んでおります。

２．「追加情報　不動産管理並びに賃貸業の収入及び原価の計上区分の変更」に記載のとおり、当社の連結子会社であるアクテック株式会社の不動産管理並びに賃貸による収入及び原価については、従来、売上高及び売上原価に計上しておりましたが、第１四半期連結会計期間より営業外収益の受取賃貸料及び営業外費用の賃貸収入原価として計上する方法に変更しております。なお、当該計上区分の変更は遡及適用され、遡及適用を行う前と比べて、前第２四半期連結累計期間の「その他」の売上高が4,137千円、「その他」のセグメント利益が1,628千円及びセグメント間取引消去が6,000千円減少しております。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	669,061
「その他」の区分の利益	17,139
セグメント間取引消去	5,567
全社費用（注）	△216,160
四半期連結損益計算書の営業利益	475,607

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務部門等管理部門に係る費用であります。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「調剤薬局事業」セグメントにおいて、応需病院が移転することとなったため、閉鎖の意思決定をした店舗において減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第２四半期連結累計期間においては5,530千円であります。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（６）重要な後発事象

該当事項はありません。